

## 第三者意見

ASU International LLC  
齋藤 楨(さいとう まき)

ASU International LLC代表、CSRコンサルタント。  
SBI大学院大学客員准教授、人間の安全保障フォーラム理事、目黒区環境審議会専門委員会委員。  
米国NYコロンビア大学大学院卒業。  
著書に『世界をよくする簡単な100の方法』(講談社)、『社会起業家～社会責任ビジネスの新しい潮流』(岩波新書)、『ソーシャルビジネス入門(翻訳・解説)』(日経BP)など。



昨年に続き、第三者意見を書くに際し、CSR担当者のヒアリングと、CSR報告書・ウェブサイトを見せていただいた。

「あしたを、つなぐ」をグループメッセージとする野村不動産グループは、今年も顧客と社会のニーズに応えるために、さまざまな新しい取り組みをスタートさせたことを理解した。社会が思い描く理想の未来に向けて、先端のITと環境技術を駆使し、先進的な都市の住環境をハード面から提供するだけでなく、同時にソフト面においても支援し、居住者や利用者の「絆」を生み出している。

その最も分かりやすい例は、複合開発プロジェクトの「ふなばし森のシティ」(以下、「森のシティ」とタワーマンションの「プラウドタワー東雲キャナルコート」だ。

「森のシティ」からは、環境に優しい住宅に住むことは、そのこと自体が環境保護活動であるという印象を受けた。分譲マンション業界初のエネルギー一括管理サービス「enecoQ(エネコック)」により、マンション全体でエネルギー総消費量をコントロールでき、結果として、個々の住民の電気料金も下げられるという。さらに、エネルギー使用状況を「見える化」することにより、電力量消費ランキングなどといったCO<sub>2</sub>削減を楽しみながら行える仕掛けもある。それだけでなく、電気自動車や電動自転車を利用しやすい環境が整っている上に、近隣の農業体験ツアーなど、環境を考える学びの機会も提供していくという。

「森のシティ」は、企業と地域住民が一体となった環境保護運動の発信基地になり、世界の注目を集めるだろう。そしてまた、日本のスマートシティ化を加速する起爆剤になることも予感する。すでに国土交通省の「住宅・建築物省CO<sub>2</sub>先導事業」に認定されたのは納得する。

「プラウドタワー東雲キャナルコート」も注目に値する。震災後、人々の関心がますます安心・安全へと高まる中、生活者アンケートを実施し、防災対策の強化を行った。アンケートの声を受けて、耐震性に優れたフレキシブルな配管への変更や、家具転倒防止用下地の増設などのハード面の改善に加えて、マンション居住者がチームとなってお互いの安全を確認できる体制づくりなど、ソフト面に至るまで支援するようになった。こうした住民や利用者の「絆」を創出するところまで面倒を見てくれる不動産会社はほかにどれだけあるだろうか。

一方、野村不動産が展開するPMO事業においても、テナントのビジネス支援やテナント同士の交流促進などソフト面からの徹底的なサポートにも驚かされる。また、野村不動産グループによる、マンションのコミュニティ形成を支援するガイドブックの発行や、住まいの総合窓口である「野村住まいるセンター」などの存在も「絆」を促進するものであり評価したい。

さて、CSR担当の方の話によると、今年2回のCSR委員会が開催され、グループ会社13社の担当者が集まり、CSRをグループ全体の運動にしようという気運が生まれたという。例えば、グループ会社として各社の強みの共有や、次世代リーダーの育成・女性活躍促進プログラムなどの目標および結果についてなど、具体的な目標とその経過報告が定量的な内容も含む形で盛り込まれたCSR報告書を来年度見られることを望んでいる。また、CSR報告書とWebサイトのそれぞれの特徴を使い分けた報告方法についても考えていただきたい。

今後も、野村不動産グループ全体がCSRIに関する先進的な取り組みを進めていくことを期待している。

### 第三者意見をいただいて

齋藤さまには昨年に引き続き、当社グループのCSR活動に関して的確なご意見をいただき、ありがとうございます。

2011年4月にCSR推進体制を整備し、今回が2回目のCSR報告書発行となりました。この間、CSR委員会も回を重ね、グループ各社におけるCSR目標の設定や各社の強みと弱みの共有など、CSR活動が具体的に形となってグループ内に浸透しつつあります。来年度のCSR報告書

では、より具体的な目標とその経過をご報告できるよう努力してまいります。さらに今後も、事業活動を通してステークホルダーの皆さまの信頼にお応えできるCSR経営を行ってまいります。

野村不動産ホールディングス株式会社  
執行役員 CSR委員会委員長  
伊勢 幸三